

A background image of a vast, rolling landscape under a dramatic sky. The sky is filled with large, billowing clouds in shades of blue, purple, and white, suggesting a sunset or sunrise. The landscape below consists of rolling hills and mountains, rendered in a monochromatic blue tone, creating a sense of depth and vastness.

# 見通し良好： 急増するクラウドコ ストを制御する

# クラウドワークロードを最適化し、Akamai のインフラに移行するための戦略的プロジェクト、Project Cirrus

ご存じでしたか？企業はパブリッククラウドに年間平均 120 万～2,400 万ドルを費やしています。企業によっては、この 10 倍にも上る場合もあります。「Flexera 2024 State of the Cloud Report」によると、IT リーダーが抱える最大のクラウド課題の 1 つが、クラウドコストの管理です。2024 年のクラウドコンピューティング支出は全世界で 1 兆ドルを超える見込みとなっており、クラウドコストの管理は経営陣にとって最優先課題となっています。

## Project Cirrus : 主なメリット

### クラウドコストの削減

- ・ 1 年目は 40% 削減
- ・ 2 年目は 70% 削減見込み

### パフォーマンスの改善

- ・ クエリーが 40% 以上高速化
- ・ レイテンシーが 80% 低減
- ・ ワークロードが 70% 高速化

### リスクの軽減

- ・ クラウドフレンドリーからクラウドネイティブへの移行を促進
- ・ 運用とプロセスを合理化
- ・ クラウド集中リスクを緩和

多くの企業と同様、Akamai も最近、クラウドリソース利用の最適化に着手しました。パブリック・クラウド・サービスの利用を評価した結果、最適化の余地が数多く見つかри、パブリッククラウドのワークロードを自社のクラウドインフラに移行するという全社的なプロジェクトを実施することになりました。これを「Project Cirrus」と名付け、このプロジェクトを通じてクラウド利用の変革を目指しました。プロジェクト開始から 1 年余りが経過した現在、サードパーティクラウド支出を 70% 削減しながら、ビジネスクリティカルなアプリケーションの効率とパフォーマンスを向上させるという目標に向けて順調に進んでいます。

## クラウドワークロードを地球規模で最適化

多くのエンタープライズと同様、Akamai も 20 年近くにわたりクラウドサービスを利用してきました。社内の各チームが、市場投入までの時間を短縮して、収益を拡大するという必要性に駆られ、組織的にクラウドサービスを採用してきました。次第に、多くのミッションクリティカルなアプリケーションでクラウドサービスを多用するようになった結果、クラウドコストが急増しました。そこで、クラウドテクノロジーを実装、活用、拡張するための戦略を策定しました。

以下に、その戦略の策定方法を紹介します。

### 前提条件：経営陣の支持

組織全体に影響を与える戦略的プロジェクトに着手する際には、まず経営陣の支持を得ることが重要です。Akamai の場合、CEO 兼共同創業者が中心となり、彼とそのスタッフがこのプロジェクトの最高責任者として監督と戦略的ガイダンスを引き受けることになりました。

「McKinsey & Company の調査によると、経営陣の支持を得た変革の取り組みは、そうでない場合と比べて、成功率が 1.6 倍高くなります。Deloitte の調査によると、経営陣の支持を得たクラウドプロジェクトは、そうでないプロジェクトと比べて、クラウドイニシアチブによる ROI が 2.5 倍向上します」

### ステップ 1：明確なビジネス目標を設定する

当社のチームは、ワークロードの重要性とクラウド支出の規模に基づいて、次の 3 つの戦略的ビジネス優先事項を特定しました。

1. 資本配分と戦略的投資の最適化
2. 財務的回復力の確保とリスク管理のサポート
3. 次の段階のデジタルトランスフォーメーションの推進

## ステップ 2 : 総体的に把握する

次の 2 つの目標を優先しました。

1. ビジネスクリティカルなアプリケーションにおけるクラウドサービス利用の最適化
2. サードパーティクラウドに展開するメリットのないワークロードの移行

上記の優先事項には明確な意図があります。クラウド支出を総体的に把握することで、サードパーティのクラウドにどれだけの金額を費やしており、その支出額が正当かどうかを判断できるようになりました。総体的に把握するためには、各アプリケーションの運用計画、ユーザーの利用率、戦略的ロードマップなどが必要です。そこから、ビジネス戦略、実装の有効性、移行の労力などに基づいて、移行の優先順位を決定します。

## ステップ 3 : クラウドネイティブの原則に沿って進める

「IDC の調査によると、クラウド最適化テクノロジーに投資することで、運用効率が最大 35% 向上します」

当社のチームが移行の対象として特定したソリューションは、お客様が活用されているソリューションでした。つまり、それらのソリューションは収益を直接左右し、厳格な SLA の対象になっています。これらのソリューションを見直すためには、パフォーマンス、コスト、拡張性の 3 点を同時に、入念に最適化する必要がありました。また、卓越した顧客体験を提供しながら、クラウドコストを管理し、利益率を維持しなければなりませんでした。

## ステップ 4 : ベンダーロックインとクラウド集中化のリスクを解消する

クラウドプラットフォームは使いやすさを念頭に設計されているため、一度使い始めると離れることが困難になります。この傾向は当社のエンジニアリングチームにも見られました。あるプラットフォームのコンピュートサービスを使い始めたところ、耐障害性と拡張性に優れたアプリケーションを開発するために同プラットフォームの他のサービスを使用するようになりました。その結果、非常に複雑に絡み合ったテクノロジー網を再構築することになり、これがイノベーションの促進へとつながりました。

## ステップ 5 : 計測して最適化する

Project Cirrus により、1 年目でコストを 40% 削減できました。このコスト削減額は、当社のクラウドインフラのコストから、アプリケーションとワークロードを当社のプラットフォームに移行する際に、弊社が削減できたパブリッククラウドのコストを差し引くことで計算しました。Project Cirrus の成熟度が進む 2 年目以降には、70% のコスト削減を見込んでいます。

## クラウドコストを半分に削減

クラウドガバナンスを実装して、パブリッククラウド投資のための持続可能なモデルを創出し、Akamai のシンプルかつオープンなクラウドサービスを活用する方法について、詳しくは[お問い合わせ](#)ください。



Akamai はオンラインライフの力となり、守っています。世界中の先進企業が Akamai を選び、安全なデジタル体験を構築して提供することで、毎日、世界中の人々の生活、仕事、娯楽をサポートしています。超分散型のエッジおよびクラウドプラットフォームである Akamai Connected Cloud は、アプリと体験をユーザーに近づけ、脅威を遠ざけます。Akamai のクラウドコンピューティング、セキュリティ、コンテンツデリバリーの各ソリューションの詳細については、[akamai.com](https://akamai.com) および [akamai.com/blog](https://akamai.com/blog) をご覧いただくか、[X \(旧 Twitter\)](#) と [LinkedIn](#) で Akamai Technologies をフォローしてください。公開日 : 2024 年 7 月。